安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、データの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。(例: 感電注意)
⃠	してはいけない事項(禁止事項)を示します。(例: 分解禁止)
●	しなければならない行為を示します。(例: プラグをコンセントから抜く)

⚠ 警告

電源ケーブルは、必ず本製品付属ものを使用してください。（強制）
付属品以外の電源ケーブルでは、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙や発火、本製品の故障の原因となる恐れがあります。

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。（分解禁止）
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに本製品の電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。（電源プラグを抜く）
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐにパソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。（電源プラグを抜く）
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

本体やケーブルの上に物を置かないでください。（禁止）
故障や火災の原因となることがあります。

故障した状態(画面に何も表示されないなど)で使用しないでください。（禁止）
そのまま使用すると火災や感電の恐れがあります。

ケーブル類を抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。（強制）
ケーブル部分を持って引き抜くと感電や断線の原因となります。

落雷による事故防止のため、近くで雷が発生したときは電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。（電源プラグを抜く）

本製品の取り付け、取り外しをするときは、本製品およびパソコン、周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。（電源プラグを抜く）
電源ケーブルがACコンセントに接続されたまま取り付け、取り外しを行うと、故障や感電の原因となります。

― 切り取り ―

保　証　書

この製品は厳密な検査に合格してお届けしたものです。
お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、この保証書に記載された期間、条件のもとにおいて修理をいたします。
・修理は必ずこの保証書を添えてご依頼ください。
・この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

株式会社 バッファロー
本社　〒457-8520　名古屋市南区柴田本通四丁目15番

お 名 前	フリガナ
ご 住 所	〒 TEL : (　　　)　　　－

製 品 名	FTD-G732AS/USB
シリアルNo.	製品本体に記載
保証期間	ご購入日より1年間
ご購入日 ※販売店様記入欄	年　月　日 ご購入日が確認できる書類(レシートなど)を添付の上、修理をご依頼ください。

※以下は弊社内での業務連絡として使用しますのでお客様はご記入なさらないでください。

年 月 日	サ ー ビ ス 内 容	担 当

切り取り

⚠ 注意

液体や異物などが内部に入ったら、すぐに本製品の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。（電源プラグを抜く）
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取扱方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。（強制）

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。（強制）
さわってけがをする恐れがあります。

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れ、身体の静電気を取り除くようにしてください。（強制）
人体などからの静電気は、本製品を破損させる恐れがあります。

ゴムやビニル製品を長時間接触させておかないでください。（禁止）
本製品の表面が変質したり、はげたり、ゴムやビニルが付着してとれなくなることがあります。

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。（強制）
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

液晶ディスプレイについて

万一、液晶パネルが破損し、内部の液状の物質が皮膚に付着したときは、流水で15分以上洗浄し、念のため医師に相談することをおすすめします。目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、必ず医師に相談してください。液晶パネル内部には、刺激性物質が含まれています。（警告）

使用するとき

シャープペンシルや鉛筆など先のとがったものに注意してください。（注意）
液晶パネルに先のとがったものや硬いものを当てたりこすったりすると、傷がついたり割れたりすることがあります。また、長い爪も液晶パネルの損傷の原因となりますので、注意してください。

水分はすぐに拭き取ってください。（強制）
水滴や唾液などの水分が付着したまま長時間放置しないでください。液晶パネルの変形や退色の原因となります。

長時間、連続してディスプレイを見続けないでください。目の疲労防止のため、適度に休憩を取りながら使用してください。（注意）

液晶パネルの表面は傷がつきやすいため、むやみに触れたり、こすったり、たたいたりしないでください。（禁止）

パソコンの電源スイッチがONになったままの状態で、ディスプレイケーブルのコネクタを抜き差ししないでください。また、使用中はコネクタが抜けないように、必ずコネクタのネジで固定してください。（禁止）

お手入れ

液晶パネルを乾拭きしないでください。（禁止）
液晶パネルが汚れたときは、柔らかい布やガーゼに無水アルコール(イソプロピルアルコール)を含ませて、軽く拭いてください。

溶剤を使用しないでください。（禁止）
液晶パネルをベンジンやシンナーなどの溶剤や水などで拭かないでください。液晶パネルが溶けたり、退色の原因となります。

お手入れの際はパソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。（電源プラグを抜く）
お手入れの前に、必ず本製品を接続したパソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。感電の危険があります。

液晶パネルに無理な力が加わらないように注意してください。（注意）
液晶パネルに圧力が加わると、その部分の表示が波打ちます。これは、ガラス板間に注入した液晶の配光が乱れるためです。強い圧力をかけると、乱れた配光が元に復帰しない場合があります。

使用環境

直射日光、高温・多湿に注意してください。（注意）
直射日光が当たる場所や周囲の温度が35℃を超えるような場所、極端に湿度が高い場所では使用しないでください。本製品表面の変色、液晶パネルの劣化や表面のはがれ、気泡が発生するなどの原因となります。

使用条件を守って使ってください。（強制）
温度(10～35℃)・湿度(結露なきこと)の使用条件内でご使用ください。使用条件外で使用すると、寿命や劣化を早めたり、表示品質の劣化(しみ、汚れなど)の原因となります。

低温に注意してください。（注意）
室温が10℃以下になる場所で使用すると、表示品質が低下したり、気泡が発生するなどの原因となります。また、液晶の特性が変化して元に戻らなくなることがあります。

急激な温度変化に注意してください。（注意）
動作中の急激な温度変化は、故障の原因となります。

次の場所には設置しないでください。（禁止）
感電、火災の原因となったり、故障の原因となります。
・強い磁界が発生するところ……故障の原因となります。
・静電気が発生するところ……故障の原因となります。
・振動が発生するところ……けが、故障、破損の原因となります。
・不安定なところ……転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・火気の周辺、または熱気のこもるところ……故障や変形の原因となります。
・漏電の危険があるところ……故障や感電の原因となります。

長期間使用しないとき

直射日光が当たらない暗い場所に保管してください。（強制）
長期間使用しないときは梱包し、直射日光や蛍光灯の光が当たらない暗い場所に保管してください。また、低温・高温、多湿の場所は避けてください。

画面の焼き付きを防ぐには

本製品を長時間使用しない場合は、スクリーンセーバーや省電力機能などを使用するか、こまめに電源をOFFにしてください。（強制）
同じ画面を長時間表示させていると、画面表示を切り換えても残像が残る「焼き付き現象」が生じることがあります。

この冊子は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

Trademark of American Soybean Association
大豆油を原材料として使用した、環境にやさしいインキを使用しています。

はじめにお読みください
2008年5月26日 初版発行　発行 株式会社バッファロー

BUFFALO　35010387 ver.01 1-01　C10-012

FTD-G732AS/USB マニュアル　はじめにお読みください

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

ステップ1 箱に入っているものを確認しよう

万がいち、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

□FTD-G732AS(液晶ディスプレイ)........1台
□GX-DVI/U2(グラフィックアダプタ)...1個

□スタンド........1個
□D-sub15ディスプレイケーブル........1本
□ケーブルカバー........1個
□ACコード........1本
□オーディオケーブル(φ3.5mmジャック)..1本
☑はじめにお読みください(本紙)........1枚
□DVI-I→D-sub15変換アダプタ....1個

□USBケーブル........1本
□ユーティリティCD........1枚

※本製品の保証書は本紙に印刷されています。修理の際は必要事項を記入のうえ切り取って、本製品と一緒にお送りください。
※付属のACコードは、本製品専用です。安全のため、本製品以外には使用しないでください。
※追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。
※ユーザー登録や修理のときにシリアルナンバーの入力が必要です。本製品をパソコンに取り付ける前に、本製品に印刷もしくはシールで貼られているシリアルナンバー（14桁または6桁の数字）をP4の保証書に記入してください。

ステップ2 ドライバをインストールしよう

USBケーブルでパソコンと接続する場合、次の手順でソフトウェアのインストールを行います(D-subディスプレイケーブルでパソコンと接続する場合は、GX-DVI/U2のドライバをインストールする必要はありません。そのままステップ3へお進みください)。

まだパソコンにGX-DVI/U2を取り付けないでください。

❶ 周辺機器→パソコンの順に電源をONにします。

注意
コンピュータの管理者権限があるユーザー名でログインしてください。それ以外のユーザー名では正常にインストールできません。

❷ ユーティリティCDをパソコンにセットします。

メモ
・Windows Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[BuffaloInst.exe の実行]をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必 要です」と表示されたら、[続行]をクリックしてください。
・CD・DVDドライブが搭載されていないパソコンをお使いの場合、別途USBメモリを用意し、CD・DVDドライブ搭載パソコンでユーティリティCDの内容をコピーして下さい。
コピーしたUSBメモリをパソコンに接続し、「BuffaloInst.exe」を実行してください。

❸

1 「GX-DVI/U2のセットアップ」を選択します。
2 ［開始］をクリックします。

メモ
この画面が表示されないときは、ユーティリティCD内の「BuffaloInst.exe」をダブルクリックしてください。

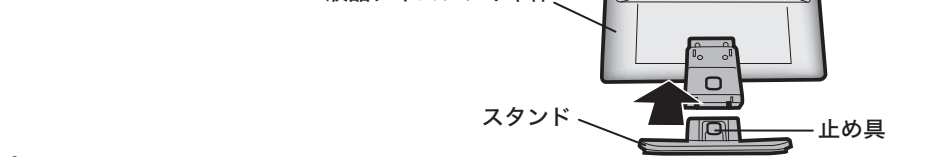
以降は画面の指示にしたがってドライバをインストールしてください。
※「変更を有効にするには、システムを再起動する必要があります。」と表示されたときは、[はい]をクリックして、パソコンを再起動してください。
以上でソフトウェアのインストールは完了です。

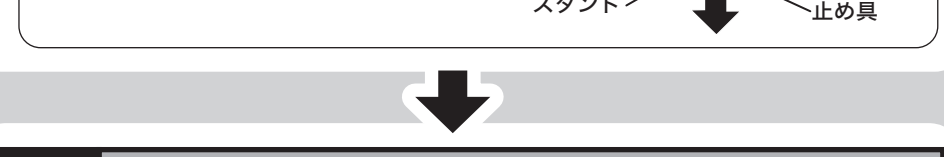
右上へつづく

ステップ3 スタンドを取り付けよう

FTD-G732ASは、出荷時にスタンドがはずれている状態で梱包されています。ご使用になる前に、FTD-G732ASにスタンドを取り付けてください。

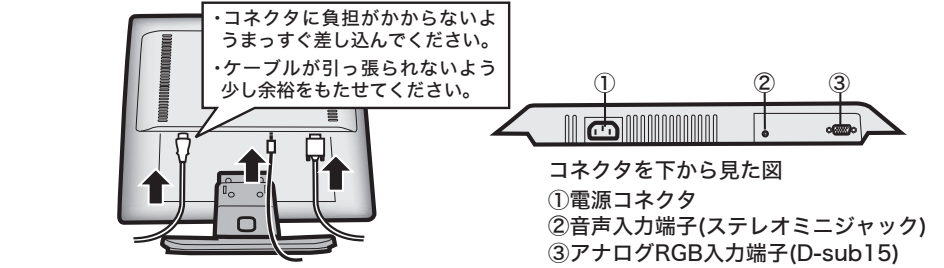
注意
・FTD-G732ASを机の上などの安定した台の上に置いて作業してください。
・液晶パネルが傷つかないよう、台の上に柔らかい布などを敷いてください。

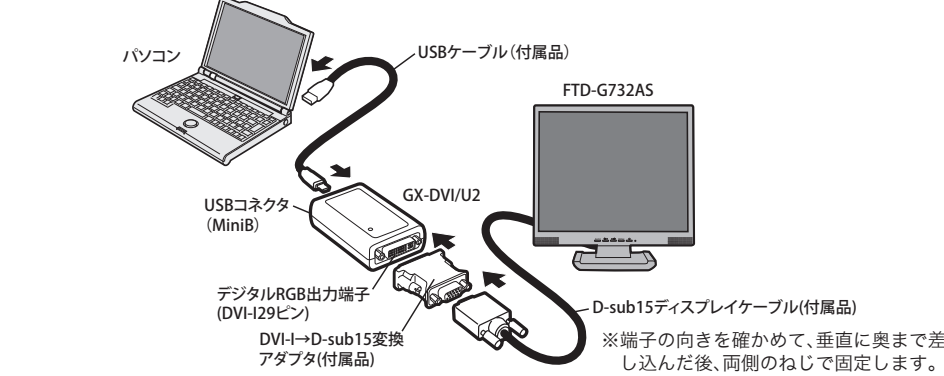
下の図のように液晶ディスプレイ本体にスタンドを差し込みます(止め具が固定されてカチッと音がします)。

メモ　スタンドの取り外し
FTD-G732ASを箱に入れるときなど、スタンドを取り外す必要がある場合は、止め具を強く押し、スタンドを取り外してください。
・FTD-G732ASを机などの安定した台の上に置いて作業してください。
・液晶パネルが傷つかないよう、台の上に柔らかい布などを敷いてください。
・スタンドの取り外しは、必要な場合(購入時の箱に入れて輸送する場合など)のみ行ってください。

液晶ディスプレイ本体
スタンド
止め具

ステップ4 パソコンに取り付けよう

注意
●作業を行う前にパソコンの電源スイッチをOFFにしてください。
●ACコードやディスプレイケーブル等各ケーブルの取り扱いによって、製品の内部で断線や接触不良が発生し、製品が故障する場合がありますので取り扱いに注意してください。
・各ケーブル類は、FTD-G732ASの角度調整などの際、引っ張られる場合がありますので、設置には少し余裕をもたせておいてください。
・各ケーブル類を抜き差しする場合は、無理に曲げたり、引っ張ったりせず、製品やコネクタ部分に負担がかからないようにまっすぐに行ってください。
●別売のアームスタンド取り付け時にも、各ケーブル類を無理に曲げたりなどせず、コネクタ部分に負担がかからないようにしてください。

ケーブル類をディスプレイに取り付けます。

コネクタを下から見た図
①電源コネクタ
②音声入力端子(ステレオミニジャック)
③アナログRGB入力端子(D-sub15)

1.付属のオーディオケーブルをFTD-G732ASとパソコンに接続します。
2.付属のケーブルでパソコンとFTD-G732ASを接続します。

<USBケーブルでパソコンと接続する場合>
GX-DVI/U2にDVI-I→D-sub15変換アダプタを装着してお使いください。

※パソコンにGX-DVI/U2を最大6台接続して6台のディスプレイに出力することもできます。この場合、1 個ずつ認識を確認してから2個目以降のGX-DVI/U2を接続してください。1個ずつ認識する前に同時に複数台接続すると、正常に認識できないことがあります。
※USBハブに接続してお使いになるときは、電源を供給するセルフパワータイプのUSB2.0ハブをご利用ください。

次ページへつづく

前ページからのつづき

<D-sub15ディスプレイケーブルでパソコンと接続する場合>

付属のD-sub15ディスプレイケーブルでパソコンとFTD-G732ASを接続します。

※パソコンのコネクタがD-sub15ピンでないときは、市販の変換コネクタを別途用意してください。

※端子の向きを確かめて、垂直に奥まで差し込んだ後、両側のねじで固定します。

3.付属のACコードをFTD-G732ASに接続し、プラグをコンセントに差し込みます。

注意

感電防止および電磁界輻射低減のため、ACコードに付いているアース線は必ず接地してください。

アース線は電源プラグをつなぐ前に接地し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。

また、アース線がコンセントや他の電極に接触しないよう注意してください。故障の原因となります。

メモ

●図のように付属のケーブルカバーを切り欠き穴にはめ込み、ケーブルを束ねることもできます。

●電源ONのときFTD-G732ASの電源ランプが緑色に点灯します。

次の状態のときは、電源ランプがオレンジ色に点灯します。画像は表示されません。

- ・パソコンから画像信号が入力されていないとき
- ・FTD-G732ASが対応していない画像信号が入力されているとき
- ・サスペンドモードになっているとき

サスペンドモードは、キーを押したりマウスを動かすことで解除できます。

前面にある⏻ボタンを押し、FTD-G732ASの電源をONにしてからパソコンの電源スイッチをONにします。
以上で接続は完了です。

ステップ5 ディスプレイ設定

ディスプレイの設定は、タスクバーに表示されている[アイコン]をクリックし、表示されたメニューから操作します。

※GX-DVI/U2を複数台接続している場合、[アイコン]アイコンをクリックすると、[BUFFALO GX-DVI/U2]が複数表示されます。設定する製品を選択してください。

■ メニュー操作

メニュー	内容
画面の解像度	GX-DVI/U2に接続したディスプレイの解像度を選択します。
画面の色	GX-DVI/U2に接続したディスプレイの色数を選択します。
回転	GX-DVI/U2に接続したディスプレイの画面を回転します。 ※「90°左回り」では、画面が右回りに90°回転します。ディスプレイを左回り90°回転させると適切な表示になります。 ※「90°右回り」では、画面が左回りに90°回転します。ディスプレイを右回り90°回転させると適切な表示になります。
移動位置	GX-DVI/U2に接続したディスプレイの画面をデュアルディスプレイモードに変更し、画面の位置を上、下、右、左から選択し変更します。
移動	GX-DVI/U2に接続したディスプレイの画面をデュアルディスプレイモードに変更します。デュアルディスプレイモードでは、GX-DVI/U2に接続したディスプレイが、通常のデスクトップ画面に隣接して拡張できます。隣接する位置については、[移動位置]から選択できます。
ミラー	GX-DVI/U2に接続したディスプレイの画面をクローン(ミラー)モードに変更します。クローン(ミラー)モードでは、GX-DVI/U2に接続したディスプレイが、通常のデスクトップ画面と同じ画面を表示します。
無効	GX-DVI/U2に接続したディスプレイの画面の非表示にします。
詳細設定	画面の設定(または画面のプロパティ)を表示します。

GX-DVI/U2

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

万一、障害が発生したときは次の対策を行ってください。

・本製品とテレビやラジオの距離を離してみる。　・本製品とテレビやラジオの向きを変えてみる。

液晶ディスプレイの設定ボタンについて

液晶ディスプレイ前面の設定ボタンには次のような機能が割り当てられています。

シンボル	機能
AUTO	・OSDメニューメニューを閉じます。 ・OSDサブメニューからメインメニューへ戻ります。 ・OSDメニューが開いていないとき、自動調整を実行します。
−🔈＜	・OSDメニュー画面でカーソルを上方向に移動します。 ・OSDサブメニューで数値設定の変更(数値下降)を行います。 ・OSDメニューが開いていないとき、音量の調整メニューが開きます。
＞🔈＋	・OSDメニュー画面でカーソルを下方向に移動します。 ・OSDサブメニューで数値設定の変更(数値上昇)を行います。 ・OSDメニューが開いていないとき、音量の調整メニューが開きます。
MENU	・OSDメニューを開きます。 ・OSDサブメニューを開きます。 ・選択した項目を決定します。
⏻	電源のON/OFFを行います。

※詳細な設定ができるOSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューについて詳しくは、画面で見るマニュアルを参照してください。

製品仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

<液晶ディスプレイ>

		FTD-G732ASシリーズ
パネル		17型カラーTFT液晶
最大解像度		SXGAサイズ(1280×1024ドット)
最大色数		1677万色(擬似フルカラー)
平均輝度/平均コントラスト比		300cd/m² /1000:1
平均視野角度		上下170°左右170°
入力信号	VGA/音声	アナログRGB(0.7Vp-p/75Ω) セパレート同期信号(TTL) / 1.0Vrms
端子	VGA 入力 / 音声入力	D-sub 15ピンコネクタ(ミニ) / φ3.5mm ステレオミニジャック
DDC		DDC 2B
電源/最大消費電力		100V AC±10%　50/60Hz / 42W(オフモード時:1W以下)
スピーカー		出力1.5W(最大)×2
外形寸法 / 重量		370(W)×384(H)×210(D) mm / 4.1kg
VESAマウントインターフェース		VESA100mm
動作環境		温度:10〜35℃　湿度:結露無きこと

※D-sub15ピン(3列)アナログRGBコネクタを装備していない機種で本製品を使用するときは、市販の変換コネクタを別途用意してください。

※FTD-G732ASのドライバは、弊社ホームページ(buffalo.jp)よりダウンロードすることができます。

J-Moss グリーンマーク

<グラフィックアダプタ>

		GX-DVI/U2
インターフェース		USB2.0 HighSpeed(パソコンに標準搭載されていること)
出力端子	デジタルRGB出力	DVI-I29ピン
	アナログRGB出力	デジタルRGB出力端子にDVI-I→D-sub15変換アダプタにて出力します。
電源/消費電力		+5V(USBコネクタより供給) / 最大2.5W
外形寸法/重量		50×77×22mm(突起部を除く) / 約55g(本体のみ、付属品含まず)
動作環境		温度:5〜35℃　湿度:20%〜80%(結露なきこと)
対応機種	CPU	同時接続台数1〜3台:Intel Pentium Ⅲ 1.2GHz相当以上 同時接続台数4〜6台:Intel CoreDuo 1.6GHz相当以上
	メモリ	同時接続台数1〜3台:512MB以上(Windows XP/2000)、1GB以上(Windows Vista) 同時接続台数4〜6台:1GB以上(Windows XP/2000)、1.5GB以上(Windows Vista)
	対応パソコン	USB2.0ポートを標準搭載した DOS/V機(OADG仕様)
	対応OS	Windows Vista(32bit)、 Windows XP SP2以降、 Windows 2000 SP4以降(Roll Up 1のインストール必要)

※上記を満たす環境の場合であっても、お使いのパソコンのアプリケーション環境やその他デバイスの性能により動画が滑らかに再生されないことがあります。

※Windows VistaにてAero機能をご使用になるには、パソコン本体のグラフィック性能がAero機能に対応している必要があります。

※HDCP(著作権保護技術)には非対応です。

対応表示モード
<USBケーブルでパソコンと接続する場合>

対応解像度　(4:3または5:4)		
通称	解像度	対応リフレッシュレート
VGA	640×480	60/72/75
SVGA	800×600	56/60/72/75
XGA	1024×768	60/70/75
XGA+	1152×864	75
Quad-VGA	1280×960	60
SXGA	1280×1024	60/75

※対応解像度以外の設定では、画面が正常に表示されないことがあります。

<D-sub15ディスプレイケーブルでパソコンと接続する場合>

ビデオ信号	解像度	ドットクロック(MHz)	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
VGA(PC-98)	640×400	25.2	31.5	70
VGA	640×480	25.2	31.5	60
	720×400	28.3	31.5	70
VESA VGA	640×480	31.5	37.9	72
		31.5	37.5	75
VESA SVGA	800×600	36.0	35.2	56
		40.0	37.9	60
		50.0	48.1	72
		49.5	46.9	75
VESA XGA	1024×768	65.0	48.4	60
		75.0	56.5	70
		78.8	60.0	75
VESA	1152×864	108.0	67.5	75
	1280×960	108.0	60.0	60
VESA SXGA	1280×1024	108.0	63.9	60
		135.0	79.9	75
MAC13'MODE	640×480	30.2	35.0	67
MAC16'MODE	832×624	57.3	49.7	75
MAC19'MODE	1024×768	80.0	60.2	75

※1280×1024ドット/60Hzでの使用をおすすめします。　※上記以外の信号でも表示できることがあります。

※上記の信号でも、最適な画面表示を得るためには調整が必要です。

※MacintoshではD-sub15ピン(ミニ)コネクタを搭載している必要があります。

FTD-G732AS

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ラジオやテレビジョン受信機(以下、テレビ)などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。

・本機と、ラジオやテレビ双方の向きを変えてみる　・本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる
・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる

こんなときは <USBケーブルでパソコンと接続した場合>

接続したディスプレイの画面が表示されない

GX-DVI/U2が正常に認識されていると、GX-DVI/U2の電源ランプが緑色に点灯しています。点灯していないときは、本紙おもて面ステップ3を参照して接続しなおしてください。

画面の設定(画面のプロパティ)が表示されない

GX-DVI/U2を取り外したり、デュアルディスプレイモードからクローン(ミラー)モードに設定を変えると、画面の設定(画面のプロパティ)が表示されなくなることがあります。
このようなときは、次の操作をお試しください。

1.[Alt]を押しながら「Tab」を押し、タスク切り替えを表示します。[Tab]を数回押し、画面のプロパティを選択します。
2.[Alt]を押しながらスペースキーを押します。[Enter]を押します。
3.[↓]を1度押し、マウスで画面の設定(画面のプロパティ)を表示されるところまで移動します。

ソフトウェアの画面が表示されない

ウインドウが画面外に飛び出している
タスクバーから表示されていないソフトウェアのウィンドウを選び、タスクバー上のウィンドウを右クリックします。表示されたメニューから[移動]をクリックし、「↓」を1 度押し、マウスでソフトウェアの画面が表示されるところまで移動します。

タスクトレイに[アイコン]アイコンが表示されない

GX-DVI/U2を取り外してから、再度パソコンに取り付けてください。

対応解像度が表示されない

GX-DVI/U2を取り外してから、再度パソコンに取り付けてください。

画面のプロパティでの設定が反映されない(Windows XP/2000)

再起動による設定の反映に対応していないため
GX-DVI/U2に接続したディスプレイの設定変更は、左に記載しているメニューから操作してください。他のディスプレイの設定を行う場合は、画面のプロパティの[設定]タブにある[詳細設定]ボタンをクリックし、[再起動しないで、新しい表示の設定を適用する]を選んでください。その後、設定を行ってください。

動作が不安定になる、または動作が遅い

USB ポートからの電源供給が不足していると、動作が不安定になったり、動作が遅くなったりします。このようなときは、他のUSB 機器を取り外してお使いください。バスパワータイプのUSB ハブにつないでいる場合は、パソコン本体のUSB2.0コネクタまたはセルフパワータイプのUSB ハブに接続してください。

動画再生ができない

- GX-DVI/U2に接続したディスプレイを「プライマリ」に設定すると動画再生ができないことがあります。GX-DVI/U2に接続したディスプレイは、セカンダリとしてお使いください(または内蔵グラフィックに接続されたディスプレイで再生してください)。
- GX-DVI/U2に接続したディスプレイで動画をフルスクリーン表示にすると画面が表示されないことがあります。このような場合、動画をウィンドウ表示で再生してみてください。
- GX-DVI/U2に接続したディスプレイにハードウェアオーバーレイ機能を使用したアプリケーションの画面は表示されません。各アプリケーションの設定にて、ハードウェアオーバーレイ機能をオフにしてください。

制限事項 <USBケーブルでパソコンと接続した場合>

GX-DVI/U2には次の制限事項があります。

■ 新しく他のUSB機器を認識する際に、画面が一瞬消えることがあります。
■ お使いのパソコンによっては、省電力機能(スタンバイや休止など)がGX-DVI/U2に対応していないことがあります。このようなとき、省電力機能からの復帰後、画面が表示されないことがあります。
■ GX-DVI/U2に接続したディスプレイにコマンドプロンプトをフルスクリーン表示することはできません。コマンドプロンプトのフルスクリーン表示は、内蔵グラフィックのディスプレイで操作してください。
■ GX-DVI/U2に接続したディスプレイをデュアルディスプレイモードで使用中にGX-DVI/U2の取り外しを行うと、デスクトップのアイコンは、内蔵グラフィックのディスプレイ(プライマリディスプレイ側)に移動します。再度GX-DVI/U2を接続しても、GX-DVI/U2に接続したディスプレイ側にアイコンは戻りません。
■ GX-DVI/U2はWindowsが起動している状態で使用します。システム起動画面や、BIOS 設定画面は表示できません。システム起動画面や、BIOS 設定画面の確認や操作は、内蔵グラフィックのディスプレイにて行ってください。
■ ウイルス対策ソフトウェアによっては、GX-DVI/U2のドライバのインストール/ 削除を行う際に警告が表示されることがあります。このようなときは、ウイルス対策ソフトウェアを最新の状態にするか、ウイルス対策ソフトウェアでインストール/ 削除を許可する設定を行ってください。
■ ソフトウェアによっては、動作中に画面のモードが変更されるとエラーが発生するものがあります。このようなときはソフトウェアを一度終了し、GX-DVI/U2を取り外してください。その後、GX-DVI/U2を取り付けて再度ソフトウェアを起動してください。
■ ソフトウエアによっては、動画再生中にビデオウィンドウをGX-DVI/U2に接続したディスプレイ上に移動させると、動画が正常に再生されないことがあります。動画再生中にビデオウィンドウをディスプレイ間で移動させないようにしてください。
■ 壁紙の表示は、内蔵グラフィックのディスプレイ(プライマリディスプレイ側)を基準にしているため、解像度などの設定がGX-DVI/U2に接続したディスプレイと異なる場合、最適な表示にならないことがあります。
■ クローン(ミラー)モードでの動画再生は非対応です。
■ クローン(ミラー)モードでは、DirectX、OpenGL等のAPIは動作しません。
■ デュアルディスプレイモードでは、内蔵グラフィックに接続されたディスプレイは、グラフィックの機能が全て使用できますが、GX-DVI/U2に接続されたディスプレイではDirectX、OpenGL等のAPIの一部の機能が使用できません。
■ ハードウエアオーバーレイ機能を使用したアプリケーションの画面は表示されません。
■ GX-DVI/U2に接続したディスプレイで、著作権保護技術により保護された動画コンテンツは再生できません。
■ 2枚以上のグラフィックカードを使用した環境での使用はできません。

FTD-G732AS

本製品の規格に関して
弊社は、国際エネルギースタープログラムへの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

画面で見るマニュアルの読み方
「液晶ディスプレイユーザーズマニュアル」

画面で見るマニュアル「液晶ディスプレイユーザーズマニュアル」は、弊社ホームページ(buffalo.jp)にて公開しております。画面で見るマニュアルでは、OSDの操作方法やトラブルシューティングなど、本紙に記載されていない情報が記載されています。本紙とあわせて必ずお読みください。

お問い合わせ・修理窓口・備品販売窓口

お問い合わせ・修理窓口・添付品の販売については、以下の順にてご確認いただきますようお願い致します。
マニュアル(印刷物、添付 CD 等)の設定内容・困ったときは(Q&A)をご確認ください。

弊社ホームページにて**最新 Q&A 情報、最新ドライバ・ファームウェア**をご確認ください。
サポート情報　86886.jp (ハローバッファロー) (http://www 不要)

上記で改善しない場合は、**バッファローサポートセンター**へお問い合わせください。
お問い合わせの際は、以下「必要な情報」③〜⑦をあらかじめご確認ください。

インターネット(E メール)でのお問い合わせ先
Webサポート　86886.jp/mail/ (http://www不要)　※左記 URL から画面に従って進み、表示されるお問合せフォームより質問をお送りください。

電話でのお問い合わせ先　※電話番号はお掛け間違いのないようにご注意ください。
東京第1センター　**03−5781−7260**　月〜土 9:30 〜 19:00
東京第2センター　**03−5365−3101**　日〜土 9:30 〜 19:00
IP電話*1　**050−3101−0084**　月〜土 9:30 〜 19:00
名古屋　**052−619−1188**　月〜金(祝日除く)9:30 〜 17:00
*1 NTT 固定電話からは全国一律 11.34 円 /3 分で利用可能。(注)営業日は、上記のほか年末年始、法定点検日など休業する場合があります。

手紙でのお問い合わせ先
〒457-8570 名古屋市南区豊田 3-3-5　(株)バッファロー　サポートセンター宛

修理は以下の**バッファロー修理センター**までご依頼ください。※修理品送付の前に弊社への連絡は不要です。
保証書について　修理送付前に本製品添付の保証書記載の保証契約約款をよくお読み下さい。
修理 web 予約　弊社ホームページより修理の web 予約、受付けた修理品の状況確認が可能です。
86886.jp/shuri/ (http://www 不要)
送付先住所　〒457−8570　愛知県名古屋市南区豊田 3−3−5
株式会社バッファロー修理センター受付宛
電話番号　**052−698−7330** ※ご依頼の修理品に関するお問合せのみ承っております。
月〜金(祝日を除く)　9:30 〜 12:00　13:00 〜 17:00
送付いただく物　本製品、本製品付属品、保証書(原本)、修理依頼票(*)
* 修理依頼票は弊社ホームページよりダウンロード可能です。修理依頼票を添付できない場合は、以下「必要な情報」を記載した資料を製品と一緒にお送りください。

【注意事項】
※発送は宅配便等控えが残る方法にてお送りください。控えが残らない郵送は固くお断りします。
※修理依頼時の送料は、送り主様の負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故においては、弊社は責任を負いかねます。輸送会社に保証していただくなどの措置をお取りください。
※ハードディスク、フラッシュメモリ等の記憶装置内のデータは保証できませんので、修理に送付される前に予めお客様にてバックアップをとっていただきますようお願いします。
※AirStation、BroadStation、LinkStation、TeraStation は、修理の際に出荷時の状態に戻す為、設定内容(接続ユーザ名 / パスワード / 無線暗号キー(WEP)等)を消去しますので、ご送付前に必ず設定内容を控えてください。
※修理期間は、製品の到着後 10 日程度(弊社営業日数)を予定しております。
※修理させていただいた製品の保証期間は、元の保証期間の終了日又は、修理完了日より 3 ヶ月間のいずれか長い方となります。

製品の添付品販売(一部)、ダウンロード(ドライバ・ファームウェアなど)の代行サービス(有料)は下記のページをご覧ください。
添付品の販売(備品販売窓口)ページ　86886.jp/bihin/ (http://www 不要)

ユーザ登録はこちらのページ **86886.jp/user/** (http://www 不要)より登録いただけます。

必要な情報

①返送先(氏名・住所・電話番号(内線)・FAX番号)
②平日昼間の連絡先
(氏名・住所・電話番号(内線)・FAX番号)
③バッファロー製品名
④バッファロー製品のシリアルナンバー
⑤具体的な症状/エラーメッセージ
⑥発生状況(初めから・ある日突然等)、発生頻度(必ず、時々、時間が経つと等)
⑦ご使用環境(パソコン機種名、OS(Windows XP等)、周辺機器)
⑧製品以外の添付品(ACアダプタ、ケーブルなど)

※受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は、弊社ホームページでご確認ください。
※This product supports only Japanese language.
Technical and customer support is limited to Japan only.
This product supports Japanese language Operating Systems ONLY.

弊社へご提供の個人情報は次の目的のみに使用し、お客様の同意なく第三者への開示は致しません。
・お問合せに関する連絡・製品向上の為のアンケート(サポートセンター)・添付品の販売業務(備品販売窓口)
・製品返送/詳細症状の確認/見積確認/品質向上の為の返送後の動作状況確認(修理センター)

＊弊社では、本製品の補修用部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造終了後5年間保有しています(弊社品質基準に適合した相当部品を含む)。保有期間が過ぎても故障箇所によっては修理可能なことがあります。詳しくはバッファローサポートセンターまでご相談ください。

使用済み液晶ディスプレイの回収・リサイクルについて

2003年10月1日施行の「資源有効利用促進法」に基づき、弊社ではご家庭で不要になった弊社製液晶ディスプレイの回収・再資源化を実施しております。
詳しくは、弊社サポート&サービスホームページ **86886.jp** をご参照ください。

切り取り

保 証 契 約 約 款

この約款は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。お客様が、この約款に規定された条項に同意頂けない場合は保証契約を取り消すことができますが、その場合は、ご購入の製品を使用することなく販売店または弊社にご返却下さい。なお、この約款により、お客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

第1条(定義)
1 この約款において、「保証書」とは、保証期間に製品が故障した場合に弊社が修理を行うことを約した重要な証明書をいいます。
2 この約款において、「故障」とは、お客様が正しい使用方法に基づいて製品を作動させた場合であっても、製品が正常に機能しない状態をいいます。
3 この約款において、「無償修理」とは、製品が故障した場合、弊社が無償で行う当該故障個所の修理をいいます。
4 この約款において、「無償保証」とは、この約款に規定された条件により、弊社がお客様に対し無償修理をお約束することをいいます。
5 この約款において、「有償修理」とは、製品が故障した場合であって、無償保証が適用されないとき、お客様から費用を頂戴して弊社が行う当該故障個所の修理をいいます。
6 この約款において、「製品」とは、弊社が販売に際して梱包されたもののうち、本体部分をいい、付属品および添付品などは含まれません。

第2条(無償保証)
1 製品が故障した場合、お客様は、保証書に記載された保証期間内に弊社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、次の各号に掲げる場合は、保証期間内であっても無償保証の適用を受けることができません。
2 修理をご依頼される際に、保証書をご提示頂けない場合。
3 ご提示頂いた保証書が、製品名および製品シリアルNo.等の重要事項が未記入または修正されていること等により、偽造された疑いのある場合、または製品に表示されるシリアルNo.等の重要事項が消去、削除、もしくは改ざんされている場合。
4 販売店様が保証書にご購入日の証明をされていない場合、またはお客様のご購入日を確認できる書類(レシートなど)が添付されていない場合。
5 お客様が製品をお買い上げ頂いた後、お客様による運送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合。
6 お客様における使用上の誤り、不当な改造もしくは修理、または、弊社が指定するもの以外の機器との接続により故障または破損した場合。
7 火災、地震、落雷、風水害、その他天変地変、または、異常電圧などの外部的要因により、故障または破損した場合。
8 消耗部品が自然摩耗または自然劣化し、消耗部品を取り換える場合。
9 前各号に掲げる場合のほか、故障の原因が、お客様の使用方法にあると認められる場合。

第3条(修理)
この約款の規定による修理は、次の各号に規定する条件の下で実施します。
1 修理のご依頼時には製品を弊社修理センターにご送付ください。修理センターについては各製品添付のマニュアル(電子マニュアルを含みます)またはパッケージをご確認ください。尚、送料は送付元負担とさせていただきます。また、ご送付時には宅配便など送付控えが残る方法でご送付ください。郵送は固くお断り致します。
2 修理は、製品の分解または部品の交換もしくは補修により行います。但し、万一、修理が困難な場合または修理費用が製品価格を上回る場合には、保証対象の製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換する事により対応させて頂く事があります。
3 ハードディスク等のデータ記憶装置またはメディアの修理に際しましては、修理の内容により、ディスクもしくは製品を交換する場合またはディスクもしくはメディアをフォーマットする場合などがございますが、修理の際、弊社は記憶されたデータについてバックアップを作成いたしません。また、弊社は当該データの破損、消失などにつき、一切の責任を負いません。
4 無償修理により、交換された旧部品または旧製品等は、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きます。
5 有償修理により、交換された旧部品または旧製品等についても、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きますが、 修理をご依頼された際にお客様からお知らせ頂ければ、旧部品等を返品いたします。但し、部品の性質上ご意向に添えない場合もございます。

第4条(免責事項)
1 お客様がご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当該製品の購入代金を限度と致します。
2 お客様がご購入された製品について、隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定にかかわらず、無償にて当該瑕疵を修補しまたは瑕疵のない製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。
3 弊社における保証は、お客様がご購入された製品の機能に関するものであり、ハードディスク等のデータ記憶装置について、記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

第5条(有効範囲)
この約款は、日本国内においてのみ有効です。また海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。

切り取り